

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第97号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
 Email: iguren@kanagawa-iguren.com
 http://www.kanagawa-iguren.com

製造懇談会、中小条例懇談会がスタート

芝 忠

異グ連が、このほど「中小製造業活性化懇談会(製造懇)」と「中小企業条例活用懇談会(条例懇)」を相次いでスタートさせました。

- 1、「製造懇」は、近年の環境変化のなかで、中小製造業者がどうやって生き延びることが出来るのかの策を考え、半年か1年程度で、国や自治体に提言しようとするものです。「内需振興」と言っても実際にどのような政策が中小製造業者にプラスとなるのかを考えるものです。今年の猛暑の中で、小・中学校の施設内温度が37度にも上がって病人が続出し、クーラー設置の必要性が叫ばれましたが、地元の業者にクーラーを設置させて、地域にお金が回る地域内経済循環をするように措置しても、家電機器が中国やタイから輸入され、部品がすべて海外製となると、日本の中小製造業者に仕事は来ないという理屈になります。国内の部品業者が潤うためには、既成の自動車産業や電機産業における「年中行事化された下請け叩き」を無くして、製造業ピラミッドの下部構造の収益を改善することか必要です。そうした「改善策」を検討するための「懇談会」です。当初、研究会としようかと思いましたが、硬いイメージがあるので、やさしく懇談会の名称にしました。メンバーは、異グ連の理事や若手経営者、事務局を含めて10人でスタートしました。
- 2、「条例懇」は、昨年施行された「神奈川県中小企業活性化推進条例」や、本年4月に議員立法で成立施行された「横浜市中小企業振興条例」を踏まえて、これまで中小企業政策研究会で行っていた「中小企業振興条例」づくりや、その活用研究会を、さらに一歩進めて、実際に横浜市以外の市町村にも条例化を促すとともに、とりわけ横浜市の区段階の活動を活性化させる働きかけをするために、新たに設立したものです。当面、横浜市に対して異グ連や市内異業種交流団体と連名で「要望書」を提出しようという考えです。区段階に「中小企業を振興する協議会」のようなものを設置する考えを提案しています。懇談会メンバーには、中小企業家同友会その他の団体・個人に参加をお願いしています。
- 3、異グ連では、この2つの組織のほかに、新たに相談部や会員訪問調査部、さらに国際交流委員会やソーシャルビジネス支援部(いずれも仮称)などの設置を検討しています。すでにある人材確保・育成プロジェクトや新環境フォーラム、サロン事業、商店街振興プロジェクト(従来の関内・野毛地域活性化プロジェクトを改組の予定)など抜本的に運営組織の見直しに着手しています。異グ連活動の新しい発展方向を模索中で、皆様のご意見もお聞かせください。

産学官交流サロンのコーナー

第41回三浦半島経済人サロンの開催案内

日時：H22年11月17日(水) 18:00~20:30
 場所：神奈川新聞社・横須賀支社 5階会議室
 会費：1,000円(ビールと簡単なおつまみ付)
 <話題提供>

「そうだったのか、デザイン！」

～その誕生と歴史、そして現在～

(社)かながわデザイン機構・理事

佐々木デザインスタジオ主宰 佐々木 勝氏

交流懇親会：自社への応用を考えましょう！

申込：神奈川異グ連事務局 八幡敬和 045-633-5142、
 防衛大学名誉教授 鶴野省三 046-836-6785

第30回西湘サロン開催案内

日時：H23年01月17日(月) 18:00~20:00
 場所：小田原市第三区公民館
 会費：1,000円(ビールと簡単なおつまみ付)
 <話題提供>

創業135年「老舗呉服店経営を語る」

～県の出前相談事業を利用して新商品開発～

山田呉服店代表取締役 山田彰夫氏

申込：異グ連事務局 島津、吉池、芝 045-633-5142
 <予告>

第31回：H23年3月14日 萬翠楼 福住治彦氏

第32回：H23年5月9日 ガラス作家 濱館 寛氏

おなじみ尾上町サロン (ぶらり参加大歓迎!!)

日時：原則第一・三金曜日（11月19日、12月03日、17日）17:15～19:30
場所：神奈川中小企業センター5階異グ連事務所 参加費：1000円（現物も大歓迎）
話題：自由に持ちより（テーマの事前予約OK） 問合せ：芝、八幡、鈴木 045-633-5142

かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況**シフト21** [【http://www.shift21.jp/】](http://www.shift21.jp/)

有村知里

11月定例会はプロダクトデザイナーの功力（くぬぎ）太郎氏に「**プロダクトデザインのお仕事『ふさわしい形を求めて』**」というテーマでお話いただきました。担当商品のグッドデザイン賞受賞歴4回を誇る豊富な実績をお持ちの功力氏に、プロダクトデザインのノウハウや、どうしたらモノをきれいに見せることができるのかといったコツをわかりやすくお話いただきました。

12月定例会は、水戸証券㈱常勤監査役の原雅英様に「**証券市場からみた今後の経済情勢**」というテーマでお話をいただきます。来年を見据えて日本経済、世界経済を俯瞰してみませんか。（12月14日（火）18:30～20:20 かながわ県民センター303号室）

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会（原則第2火曜日）を開催しております。ゲスト参加大歓迎。お問い合わせは有村まで。

arimura-c@nifty.com

第112回（10月27日）日韓ビジネス協議会報告

高橋導徳

- 企業紹介・・・(株) ワン・ホープ マネージャー 濱田嘉彦、田中尚樹各氏
 韓国の麗水（ヨス）で EXPO・1012が開催される予定である。この事業に伴い各種開発が進行している状況を説明された。当社はオーシャンリゾートクラブの会員を募集している。
- 企業紹介・・・ANC社 「KOREA TODAY」誌など 記者 末廣 信氏
- セミナー受講報告・・・大島経営研究所 所長 大島英雄氏
- 講演：「**むかしの遺物から見た日韓の生活と文化**」 歴史研究家 佐々木 武氏
 日本の縄文時代から平安時代の日韓の遺物を取り上げて比較し、その文化・生活の違い・似通っていることなどを炉、カマド、炊飯具、食器、飛鳥寺、定陵寺、東明王陵、聖徳太子廟、法隆寺、飾履、四神図、馬冑などを挙げて分析・考察・解説された。

第113回日韓ビジネス協議会定例会開催案内

高橋導徳

日時：2010年11月24日（水）15:00～17:15 **懇親会** 17:15～18:15

場所：神奈川中小企業センタービル 5階会議室

- 内容**：1、企業紹介 韓国に会社を設立した苦労話（有）オリエントマシン取締役 平手陽介氏
 2、韓国「産業技術フェア」報告（財）日韓中小企業情報交流センター所長 初瀬川 茂氏
 3、その後の「FAX取引」について報告 PRISM代表 島田弘一氏
 4、講演：「**負荷分散による業務効率の飛躍的向上**」 MSC 総合事務所所長 福田祐二氏

申込先：T/F045-311-0094 高橋迄 mtakahas@tb3.so-net.ne.jp 携帯 080-3171-4069

まんてんプロジェクト

千田泰弘

- 10月6日 平成22年第2回まんてん全体会合を開催した。軽量素材のドリリング加工について、武蔵工業大学の小川名誉教授、航空機産業の動向について（財）機械振興協会経済研究所の山本研究員、水上飛行機の開発状況について開発事業協同組合の桜井理事長などの発表があった。
- 10月19日 NAGANO航空宇宙プロジェクト幹部とまんてんプロジェクト幹部との会合を持った
- 10月22日 チェコ航空宇宙コンソーシアム代表と会合し、今後の協力の勧め方を協議した。
- まんてんHPを全面的にリニューアルした。

身近な中小企業支援施策（総括）

<p><技術></p> <p>「広域関東圏イノベーション創出促進協議会」</p> <p>企業の技術課題の解決の為、広域関東圏1都10県に公設試、大学、産業振興財団、産総研が協働で支援する協議会が設置されています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術相談・指導と研究機関や共同研究パートナーを紹介し（無償）。 ・約2000台の研究設備を開放します（有償）。 <p>東京都：都立産業技術センター 03-3909-2151 神奈川県：神奈川県産業技術センター 046-236-1510 横浜市：横浜市工業技術センター 045-788-9000</p>	<p><人材></p> <p>「組織活性化、人材活用アドバイザーを派遣」</p> <p>優秀な人材の確保、社内制度の整備、働き方の見直しなどにワーク・ライフ・バランスが注目されています。神奈川県内に事業所のある中小企業へアドバイザーを派遣（無償）します。</p> <p>神奈川県商工労働部雇用労政課 045-210-5746</p> <p>「かながわ人材育成支援センター」</p> <p>マネージメント、リーダーシップ、メンタルヘルス、各種技能などの研修を通じて人材育成を支援します。</p> <p>県立産業技術短期大学校開発研修課 0466-28-3535</p>
<p><資金></p> <p>「条件変更対応保証制度」</p> <p>公的金融機関と取引の無い企業でも、信用保証協会による返済負担軽減処置を受けられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保証割合40% ・保証期間最長3年 ・保証料2.2% ・保証限度額2.8億円 <p>本制度はH23年03月31日まで</p> <p>問合：関東経済産業局中小企業金融課 048-600-0425</p> <p>「年末対策ワンストップ・サービス・デイ」</p> <p>年末の資金繰り、海外展開、雇用調整助成金等の相談を全ての都道府県で11月中旬から実施しています。神奈川県は11月26日産業技術センターで実施。</p> <p>問合：関東経済産業局中小企業金融課 048-600-0321</p>	<p><輸出管理></p> <p>「中小企業における輸出管理制度の導入支援」</p> <p>平成21年の外為法改正で「輸出者等遵守基準」が導入されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全保障輸出管理の内容 ・内部管理体制整備 ・内部研修の方法 ・許可の要否や取引審査について等 <p>本制度はH23年03月31日まで</p> <p>問合：中小企業輸出管理支援センター 03-3593-1158</p> <p>最寄りの商工会議所などでも対応します。</p>
<p><インターネットで公的支援情報を得る></p> <p>「J-Net21」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業のハ情報 ・地域資源活用情報 ・R・O・H・S指令など経営情報 ・中小企業支援機関、支援内容情報 ・資金調達情報 ・製品技術情報 などの検索 <p>http://j-net21.smr.j.go.jp</p>	<p><特許活用></p> <p>「知的財産活用による経営革新支援」</p> <p>地財の戦略活用を促進するため「知的財産専門家」を派遣します（無料）。1企業30回程度派遣。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特許分析と調査方法指導 ・特許マップの作成支援 ・市場動向検討と研究開発計画作成支援 等 <p>問合：神奈川産業振興センター 事業化支援部 事業推進支援課 045-633-5203</p> <p>工業所有権情報・研修館流通部 03-3580-6949</p>
<p><円高・デフレの緊急対策> 詳細は中小企業庁のHPを参照</p> <p>「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」その1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、商品の高付加価値化、新事業展開などの緊急支援（「戦略的基盤技術高度化支援事業」 予算額増額） 委託期間1年程度、委託金額最大1億円、追加予算85億円（約140件） 公募開始：10月上旬 委託を受ける場合は「中小ものづくり高度化法」にもとづく経済産業大臣の認定を受ける必要あり。 2、新卒者対策の抜本的強化（新規人材と採用意欲のある中小企業とのマッチング支援） 6ヶ月間の職場実習に対し、受入れ企業へ日額3500円、実習生へ日額7000円を助成します。 3、経営の安定化に向けた対応（金融支援とワンストップ・サービス・デイ） 金利負担の軽減処置（-0.5%）を、H23年3月31日まで延長。公的金融機関などに特別窓口を設置。 	

お知らせ

<p style="text-align: center;">補助金・助成金説明会、相談会</p> <p>第1回：H22年10月20日(水) 13:30～16:30 済 第2回：H22年12月07日(火) 13:30～16:30 第3回：H23年02月22日(火) 13:30～16:30</p> <p>いずれも神奈川中小企業センタービル6F大研修室 内容：①SBIR制度の説明(最新情報) ②申請書作成事例 ③無料相談会</p> <p>主催：神奈川県技術士会、神奈川県産業振興センター 045-210-0337 kcea@k06.itscom.net</p>	<p style="text-align: center;">特許情報活用セミナー</p> <p>第1回：初心者向け特許・実用新案 10月07日13:30～15:30 大和市生涯学習センター 第2回：中上級者向け特許・実用新案 11月25日13:30～15:30 神奈川県産業技術センター 第3回：エキスパート検索 12月9日13:30～15:30 神奈川県産業技術センター 第4回：外国特許 1月14日13:30～15:30 神奈川県産業技術センター 第5回：特許電子図書館の検索 2月18日13:00～16:00 大和市生涯学習センター 第6回：特許分類検索の紹介と実習 2月24日13:00～16:00 大和市生涯学習センター</p> <p>問合せ：神奈川県産業技術センター 企画調整室 tel046-236-1500 申込み：氏名、所属、住所、連絡先を fax046-236-1528 受講料：無料 参加回毎の申込み 可</p>
<p style="text-align: center;">公的補助金の申請と獲得の秘訣・セミナー</p> <p>日時：H22年11月19日(金) 14:00～17:00 場所：川崎市産業振興会館 9階 第2研修室 講師：かわさき診断士クラブ 松井利夫氏 (神奈川県異グ連理事、中小企業診断士) 受講料：1000円 申込み：川崎市産業振興財団 044-548-4159</p>	

投稿

リサイクル事業で中国の活躍

C&S 会長 魚崎誠也

台風14号が接近した10月31日に関東学院大学社会連携研究推進事業・発表会が関内メディア・ビジネスセンターで同大学の教授・卒業生・留学生が参加して盛大に行われた。異グ連も関東学院大学から同じプロジェクトの委託事業を受けているが、今回は神奈川県から中国に進出した中小企業のその後の動向を調べている第3分科会の発表会であった。

中国が今や世界の製造工場であるかのような状況の中で、リサイクル事業でも断トツに忙しい状況を同大学非常勤講師 藤井洋次氏の「国際リサイクル貿易—中国の再生資源輸入を中心に—」で発表された。多くの廃プラ、古紙、金属が中国で処理されていることが分かった。2007年の世界の再生資源貿易収支(数量ベース)から抜粋すると下記ようになる。

(単位；万トン)

	廃プラ	古紙	鉄屑	銅屑	アルミ屑
北米	97	1,732	1,295	81	106
日本	151	378	611	29	▲2
EU15カ国	101	810	▲394	47	39
東アジア	64	▲409	▲1,720	▲39	▲67
中国	▲688	▲2,256	▲336	▲558	▲209

数値は、輸出と輸入の差を示す。従って、▲は輸入が多いことを示す。

以上のように、**廃プラ、古紙、その他金属が中国に流れ込んでいる**ことが分かるが、これらを中国内陸で人海戦術で選別されている状況も映像で紹介された。このように中国がリサイクルに熱心なのは、Virgin Material(生材)を補完する目的で行っているので意義は大きい。

事務局のコーナー

神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】 荒 直孝 ③田中弘一 【火】 八幡 敬和 児玉 英二 【水】 杉本 明子 (芝 忠)

【木】 松井 利夫 【金】 ①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業です。

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川県異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

皆様からのご投稿をお願いいたします。(会報編集担当) mail t-onogawa@pro.odn.ne.jp 小野川へお送りください。
神奈川県異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 tel 045-633-5142 fax 045-633-5194 へどうぞ!